

GOKURAKUJI DAYORI  
極楽寺だより  
2022(令和4)年 12月号



発行所：極楽寺（浄土真宗本願寺派） ☎ 759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎ 0837-43-0625

# 御正忌報恩講のご案内

## 清光仏教婦人会の報恩講も、 合わせてお勤めします

コロナ禍は、第八波を迎えています。

しかし、お正月には人の動きも多くなりますから、もっと増える予想されます。その為、今年も日程を変更し、年内にお勤めすることに致しました。何卒、ご理解をお願いします。

※ 今回も、地区別に参拝日を分けました。ご都合により、違う日にお参りされても構いません。

※ 長門市におけるコロナ禍の状況次第で、急遽延期又は中止となる場合もあります。



マスク着用を  
お忘れなく！

十二月十八日（日）  
昼一時半 [野波瀬の方]  
夜七時半 [自由参拝]  
十二月十九日（月）  
昼一時半 [野波瀬以外の方]

法話は、住職がお話し致します。

今年も、お斎は中止。お花入れもお盛物もありません。寂しいことですが、仕方ありません。来年こそは…。

## 御正忌報恩講とは

親鸞聖人が亡くなられた日をご縁として開かれる法要です。聖人は、誰もが尊ばれ敬われるお念仏の教えを、一生をかけて明らかにされました。その歩みは、お念仏を「よりどころ」とし生きる力とした、たくさんのお念仏者を生み育ててきたのです。そんな先輩方の歩みを受け継ぎ、聖人のご恩に報いる「報恩講」という行事は、この私の人生を本心に尊んでいく道を、確かめていくご縁でもあります。

## 総代長交代のお知らせ

木村慎治総代長が総代長を退任されることになりました。新しい総代長は、松野行利さんです。ただし木村さんは、引き続き総代としてお勤めいただきます。また、これまで松野さんが勤められていた副総代長は、磯昭正総代にお願いすることになりました。



松野行利  
新総代長



木村慎治  
前総代長



磯昭正  
副総代長

## 世話人交代のお知らせ

藤永拓之さんの後任に、野波瀬東の世話人を田中成敏さんが勤めてくださることになりました。皆さん、よろしくお願いいたします。

お寺のお世話をしてくださる、総代・世話人の皆さんです。よろしくお願いします。

総代長		松野行利さん(野波瀬)	
副総代長	磯 昭正さん(沢江)	総 代	木村慎治さん(野波瀬)
会 計	吉見周平さん(市)	総 代	野村昭一さん(上東方)
監 査	藤村勇次さん(久原)	総 代	木村重彦さん(向山)

野波瀬西側	田中征二さん	市・湯免	吉見周平さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	田中正幸さん
	宮崎忠彦さん	久原	宮本雅志さん
	青海隆司さん	向山	木村辰也さん
	大田宇三郎さん	上東方	西村正起さん
	岩本 勉さん	下東方・小島	河野光芳さん
野波瀬東側	田中成敏さん	豊原	山中博道さん
	田村成治朗さん		山中博之さん
	石川義文さん		宮本 智さん
	江本富夫さん		坪野実人さん
	岩本国久さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	松並唯夫さん	浅田・沢江 上ゲ・殿村	大田 貢さん



# おしエノカケラ

OSHIE NO KAKERA



今年一年を振り返って

宗教よりも怖いもの



今年もいろんなことがありました。コロナ禍も三年目となり、「いつになれば、終息するのか」とぼやく毎日です。でも、終息のために日々ご苦労されている方がおられることを忘れてはいけな  
いと、自分に言い聞かせている毎日でもあります。

私は最近、「正義って怖い」と思うようになり  
ました。今年二月に始まったロシアのウクライナ

侵攻で、それを痛切に感じています。ささやかでもかけがえのない  
日常を、まさに平和を破壊する行為を、ロシアのプーチン大統領は  
「平和維持活動だ」と主張しました。呆れて言葉もありませんが、歴  
史を振り返れば、どんな国も「平和のために」「防衛のために」と正  
義を主張して戦争を行ってきたのです。何より正義って、立場によ  
って違うんですね。プーチンさんも、彼なりの正義に立っている  
のです。それが違う立場から見れば、どんなに理不尽なものだとし  
ても。

それは、私たちの身近なことにも言えるでしょう。インターネ

ERA ~ OSHIE NO KAKERA ~ OSHIE NO KAKERA ~ OSHIE NO KAKERA ~ OSHIE NO KAKERA ~ OSHIE NO KAKERA ~

ットやSNSで、不祥事を起こした人に過剰な攻撃をする「炎上」  
という現象は、その典型です。相手の思いや事情は考えない。「許  
せない！」と正義の怒りがエスカレートするほどに、「死ぬ」「殺す」  
という言葉が書き込まれていく。正義を掲げれば、何でも許される  
と思い込む。人を傷つけても気づかず、逆に被害者意識さえ振りか  
ざす。実際に多くの人が、その書き込みで亡くなっているのに…。「私  
は正しい」と思うほど、「悪」と認識する人に平気で残酷なことがで  
きるのです。

ある方が、「『正』という漢字は、『一回止まる』と書く」と言われ  
ていましたが、立ち止まり振り返ることは、本当に大切なことだと  
思います。立ち止まることを忘れた正義って恐ろしい…。「正義」とは、  
やはり取り扱い注意のシロモノ。緊張感を持って向き合わねばなり  
ません。

さて、日本における今年一番の衝撃的な  
事件といえば、やはり安倍晋三元首相が銃  
撃され、亡くなられたことではないでし

一回止まる

ようか。現行犯逮捕された容疑者が、事件の動機を「母親がのめり込んだ宗教団体によって家族が崩壊した。この団体を国内で広めたのは安倍さんだ」と供述したことから、自民党と元統一教会の関係が明らかになりました。安倍さんがこのような形で亡くなられたことは、本当に悲しいことだと思います。同時に、事件を起こした彼が追い込まれた背景も、また深刻な問題だと思います。

オウム真理教の時もそうでしたが、宗教が絡んだ事件が起こる度に「宗教は怖い」と宗教離れが進みます。しかし、それは逆効果だと言われるのは、同志社大学教授で牧師の小原克博先生です。

小原先生によると、フランスではカルト宗教の犠牲者がとても多かったそうです。一方、お隣のドイツはそれほどありませんでした。では、どこに違いがあったのか。フランスは厳格な政教分離のもとに、公教育からも宗教教育を排除しました。まさに、戦後日本とよく似た状況です。ところがそうになると、宗教に対するアンテナが働かなくなり、何が大切なものか、何が怪しいものかわからなくなりました。そこで、簡単に騙される人が続出したのです。ではドイツはどうかというと、基本法によって宗教教育が命じられていて、伝統的な宗教を学ぶ場がありました。そのことが、カルト的なものへの防波堤になったという指摘です。『問われる宗教と「カルト」』(NHK ETV こころの時代) ↓

～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～

実は、宗教的要素と人間の営みは切り離せないものなのです。私たちの生活の中に、宗教的な要素は生きています。それは吊いや死者との向き合い方だけではなく、ゲームやアニメ、文化や社会構造、私たちの行動や考え方にも影響が及んでいます。そしてそれが、精神的な豊かさや、苦難の人生を生きていく力にもなっています。自覚はなくても「宗教とは関係がない」とは、誰も言い切れないのです。

よく、「宗教は、弱い人間がすぎるものだ」という人がいますが、人間は本来弱いものでしょう。いつも強くはいられません。自分や身近にトラブルや不幸なことが起これば、揺れ動きます。そんな時、「罰が当たった」「先祖のタタリ」と、原因を宗教的なものに求める人はたくさんいます。そんな不安につけ込み、煽り、人を操ろうとするケースもあるのです。日頃から自覚的に宗教に接していれば、耐性もできますし相談するお寺や教会もあるのですが、「無宗教」を自称してアンテナが鈍くなった人ほど脆い。まさに今回の銃撃事件の背景にも、通じることだと思います。

モチロン伝統的な宗教も、何度も過ちを犯してきました。同時に、過ちに向き合ってきた歴史もあります。私たちの生活は宗教と切り離せないのですから、長年の



風雪に耐えた伝統的宗教とその「過去の歴史」をベースに、日常生活の宗教的なものへのアンテナを磨くしかありません。とは言っても、みんながみんな、これから専門的に宗教を学ぶというのは困難でしょう。せめて宗教を身近に感じ、信頼し相談できる宗教者と接していくことが重要だと思います。

宗教には、人を救うほどの大きな力があります。しかし大きな力は違う方向に行けば、人を傷つけ時には殺したりということにもなりかねません。だからこそ、安易に取り扱うのは危険です。その為にも宗教の教義には、ブレーキが用意されています。きちんとした手順を追わず、都合の良いところだけを利用するような向き合い方では、ブレーキが効かなくなる可能性がありますから、緊張感を持ち、謙虚に畏敬の念を持って接していかなくてはなりません。それは、私たち宗教者についても同様です。

そんな緊張感を持つこともなく、安易に宗教の力を利用しようとすると、必ずトラブルは起こります。特に政治権力が絡むと、規模は大きく、傷跡は長く残ります。古今東西の権力者は、宗教の大きな力を利用しようと試みてきました。なにせ、宗教的な価値観と政治目的を重ね合わせれば、容易に人々をコントロールできる。お国のために命を捧げる人を生み出せる。そのことが、数々の悲劇を生み出しました。宗教と政治の関係も、やはり緊張した関係が必要

～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～ OSHIE NO KAKERA ～

なのです。

人間の営みには必ず宗教的要素が入っていますから、「宗教は政治に関わってはいけない」と言うのはムリな話です。逆もまたしかりで、人間の営みには必ず政治的要素が入っていますから、「政治は宗教に関わってはいけない」というのもムリな話。だからこそ、おかしな方向に行かないよう取り扱いに注意すること、同時に宗教や政治を身近なものにすることが重要です。遠ざける程に耐性がなくなり緊張感が薄れ、安易に利用しようとして過ちを繰り返してしまいます。

「宗教は怖い」と言いますが、本当に怖いのは、大きな力を安易に利用しようとする私たち人間の方だと思います。そのことを、一回立ち止まり自覚すべきではないでしょうか。

世界陸上の400メートルハードルで、アジア人初のメダリストになった為末さんの座右の銘は、「危険で

あることを認識しているうちは安全である」という言葉だそうです。

陸上競技のスタートの合図をするピストルには、少量の火薬を詰められた雷管というものが使われます。少しの火薬でもひとまとめにしておくと、やはり危ない。その雷管をまとめた箱に書いてあったのが、





この言葉です。危険だと思っから注意する。緊張感を持つて取り扱う。だから、危険だと思っっている間は安全だけれども、気を抜いて大丈夫だと思っった時に、危険は訪れる。それは、火薬の危なさだけではなく、それを扱う人間の危うさをこそ指摘しているのでしょう。

これは、「宗教」や「正義」の向き合い方にも通じることだと思っます。ただ、元統一教会を叩くマスコミは、宗教に対する緊張感もなく、人間の怖ろしさへの自覚もなしに正義を振りかざしています。そのことにまた怖ろしさを感じるのは、私だけなのでしょう。一回立ち止まった方が、良いのでは…。

実は私、とても正義感が強く、おまけに宗教者の末席に名を連ねているという、一番危うさを抱えるタイプの人間なのです。だからこそ、危険であることを認識し、立ち止まり振り返ることを心掛けるなくてはなりません。今年一年を振り返りながら、改めて緊張感を持たねばならないと、自らに言い聞かせている毎日です。 ■



## お礼とご報告



### ポルトップ回収

山口別院で換金され、県内福祉施設へ寄付されます。

今年は、4.9kg (空き缶約16,333個分)

### ウクライナ救援募金

本堂に設置した募金箱へのご懇志です。

合計 30,026 円

アユス仏教国際ネットワークを通して、医療品・食料支援のために使われます。

## 物でお布施

アユス仏教国際協力ネットワークに送り、紛争で傷ついた人たちや難民、国内外の自然災害や環境破壊で困難を強いられた人たちのために役立てます。

《今年分》 CD 5枚 タオル 15枚  
切手 222枚 書き損じ葉書 102枚 ビール券 3枚



## 皆様、本当にありがとうございました

本堂に回収箱を設置しております。これからも、ご協力よろしくお願いたします。

# 月々の言葉

Monthly Words



## 12月の言葉

昔からそそっかしい私ですが、年齢を重ねていくごとに、ますます物忘れが酷くなってきました。ところが、それを自覚することで、思わぬ副産物が生まれたのです。それは、仕事が早くなったこと。そして、メモをとり、振り返り、チェックする習慣がついたことです。「今やっておかないと、忘れてしまう」という自覚があるからこそ、すぐに取りかかる。「大丈夫かな…」という思いが、振り返りや確認へとつながる。何度も見直すから、いろんな角度からの配慮や、より良くするための目配り、工夫も考えるようになってきたのです。

考えてみると、以前は「あとで大丈夫」という思いがありました。できる人にとってはそれの良いのかもしれませんが、私には傲慢な考え方だと、今になって思います。「忘れてしまう」という自覚があるからこそ、地に足を着け、一つ一つに向き合うしかないのです。↘

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

それでもうっかりすることはありますが、そこは真摯に謝るしかありません。「オレは大丈夫」という思いは、私にとって過信でしかない。自分への不安があるからこそ、早めに取りかかり、振り返る習慣が身につく。そこから新たな成長が促される。身を持って、実感しています。



私はこの生き方を、「愚者スタイル」と名づけています。生涯を通して「愚者」の立場に立ち続けられた、親鸞聖人の姿勢から学んだからです。一般的に「愚か者」とはあまり良くないイメージですが、その立場に身を置くからこそ見えてくるものがあり、賢さを誇るほどに見えなくなるものもあります。

このスタイルを私が徹底できているかというと、モチロンそうではありません。しかし、立ち戻る場所があるからこそ、我に返ることがができる。これは、かなり大きなことだと思います。

先日、毎日新聞の川柳欄に、こんな作品がありました。

【天国で会おう」と地獄行きが言う】

近頃のテレビでは、有名人やその家族が亡くなると、芸能レポーターの方たちが口を揃えて「天国から見守っておられますよ」など

と言われるのが、当り前のようになりましたね。私は信徒なのでよくわかりませんが、天国って誰もが気軽にに行ける場所とは思えないのですが…。日頃教会に行くわけでもなく、都合の良い時だけ利用しているのであれば、それは如何なものでしょう。一体いつからこんな言い方をするようになったのでしょうか。まあ、それはさて置いて。

傍から見れば、地獄行きの生き方しかしてこなかったのに、よくもまあ「天国で会おう」などと、軽々しく言えるものだという川柳です。どんなに見えるところを着飾つても、生き様や後姿は隠せない。自らを振り返り、時には指摘してもらったことがなかったら、自分がどんな後姿を晒しているかはわかりません。ところが、「悪い



ことはしていない。大丈夫」と思っていると、人は自分を振り返らないのですね。だから、どんなに地獄行きの生き方をしても気がつかない。自分が言ったことも忘れて、言われると怒り、逆ギレして恨む。自分の人生に向き合うこともなく、周りを傷つけていることに気がつかないまま、のんきに「天国に行ける」と思っている生き方は、ある意味一番罪深いことだと思えます。

私たちの社会は、賢さや正しさを追い求めてきました。裏を返

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

せば、愚かではダメだというプレッシャーが強い社会だとも言えます。だから賢さはアピールしても、愚かさは受け入れ難いし、指摘されるとうろたえ恨む。そして、愚かさと向き合うことを「後ろ向き」「ネガティブ」「自己虐的」と否定的に、都合の良いものだけを見ることを「前向き」「ポジティブ」「自分を肯定する」と言ってきたのかもしれない。

しかし、都合の悪い部分から目を逸らす生き方とは、突かれると困る弱みを持つことでもあります。そうになると、不安を抱えながら生きなくてはなりません。でも、愚かさも醜さもすべて含めた自分を丸ごと認めることができれば、本当の安心感の中で人生を歩めるのではないのでしょうか。

確かに、賢さを求める社会で、愚かさと向き合うには勇気が必要です。でも、人生に毅然とした態度で向き合い、確かな足どりで歩む人と出遇ったら、「私も、そうありたい」と素直に思えてきます。「愚かでも、大丈夫。いや、愚かさを自覚するからこそ、見えてくるものがあるんだよ」、そう言ってくださる人がいるからこそ、自分の人生に安心して向き合える。私にとって、親鸞聖人はそんな方なのです。

私には、  
信じられませんねえ





自らを深く振り返り、まさに地獄行きの生き方をしているという  
自覚があるからこそ、この私を思い、救わずにはおれないとはたら  
いてくださる阿弥陀様との出遇いが開かれる。受けとめてくださる  
大地のような阿弥陀様のはたらきに出遇うから、愚かな自分と向き  
合う勇気が与えられる。そこから、思いもよらない豊かな人生が見  
えてくるのだと、私は親鸞聖人から教えられたのです。

以前、長門市の教育委員を勤めていた時のこと。二人の先生との  
出合いがありました。一人目は、真面

目で一生懸命。自分の信念を持って、  
迷いなく取り組む「迷わない先生」。

二人目は、この子にとって一番良い答  
えは何だろうか、問いを持つ「迷う  
先生」です。子どもたちにとっては、

一体どちらが良い先生なのか…と考えさせられました。

迷いが無いということは、子どもの思いよりも自分の信念を優先  
し、押しつけることにはなりません。その子が求めている声を  
聞いているのか。自分の態度を振り返っているのだろうか。少し心  
配になってきました。

逆に、問いを持ち迷うことは、子どもに寄り添い、共に考え、



Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

共に歩んでいこうとしておられるのではないかと。実は子どもの思い  
を優先し、尊重しているからこそ迷うのではないかと、頼もしく感  
じたのです。

「迷う先生」こそ、まさに「愚者スタイル」だと思いました。愚者  
の自覚が開く豊かさを垣間見たようで、うれしい気持ちになったの  
です。

同時に、私は「愚者」であることを忘れてはいないかと、我に返  
らせてもいただきました。 ■

## 極楽寺だよりを 送riませんか

都会に出ておられる子  
どもさん、お孫さんたちへ。  
有縁の方々へ。  
お寺へお申し出下さい。  
直接郵送します。  
送り先が増えると、  
住職はうれしいのです。



## 1月の言葉

新しい年が始まります。「一年の計は元旦がんとんにあり（何事もはじめに計画けいかくを立てるのが肝要かんようだ）」という諺ことわざもあるように、「こんな一年にしたい」という目標や計画を立てられる方もあるのではないでしょうか。

最近しんきは、中学生ちゅうがくせいの頃から「どんな職業しよくぎやうを目指すか、その為にどこへ進学しんがくし、どんな資格しかくを取るか」という将来への具体的な計画を考かんがえさせる傾向けいこうにあります。「やりたいことを探さがそう」「夢を実現むをじつげんするために、今何をすべきか」という言葉も飛び交っています。

ところが思想家で武道家ぶどうかの内田樹先生うちだきは、中学校の先生や保護者への講演で「子どもに『将来の夢は？』という質問を、うかつにしないように」と語られたそうです。なぜなら、世の中には無数むすうの職業が存在そんざいしていて、中学生が知っている職業なんてごくわずか。深い考えなしに、一度「将来〇〇になりたい」と口にしてしまうと

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

それが呪縛じゆばくとなり、自分の人生を限定げんていしてしまうリスクがある。自分にどんな能力があるか、これから備そなわるかわからない。子どもの時点じてんでうかつに「自分の夢」を語らせると、それ以外の可能性を視野しやから遠ざけかねない。子どもたちには、できるだけ開放かいほう的な未来を保証ほしょうしてあげることがずっと大切だから。



とはいえ、「将来設計しやうらいせつけいをしつかりしないと不安だ」という意見も、当然ありますよね。そのことについて内田先生は、「人が仕事に就つくときって、だいたいはい向こうから声がかかるものなんです。「ちよつと手を貸かして」と言われ、つい「いいよ」と返事をして、気がついたらその道の専門家せんもんかになっていたということって、実際によくあるんです。その仕事で「将来の夢」だったわけでもないし、その適性てきせいや能力があるとも思っていなかったけれど、じゃあ自分がやるかというふうには「天職てんしよく」に出会う。僕自身これまでやってきた仕事はだいたいそうでした。」と言われます。つまり、人生は出会いによって出来る上がるもの。可能性を広げるためにも、常に心を開いた状態じょうたいしておくことが大事なのだ。 (子どもに将来の夢を語らせてはいけない 内田樹さんが貫く勉強の本質) 朝日新聞2002年3月30日

目標を立て、その実現に向けて、今やることを考える。それは漠然とした日々、何をすべきかという具体性を与えます。それは一面良いことではありませんが、目標達成だけに執着し、過程にないままに生きてしまいます。その執着は視野を狭め、過程の中で生まれる気づきや出会い、新たな可能性を見失わせてしまう。何より今は、目標を定めるのが早すぎるし、達成への執着が強い傾向にある。内田先生はそう危惧して、このようなメッセージを発信しておられるのでしよう。

「我々がやりがちなのは、人生をプロジェクト（計画）として

みること」だと指摘されるのは、

フィンランドの哲学者フランク・

マルテルアさんです。人生が「目標を達成するためのプロジェクト」

ならば、「成功するかどうか」で人生の価値は決まってしまう。思っ

た通りにいかなかった人生は、失敗だと決めつけられる。そうでは

なく「人生はむしろ物語とみるべき」なのだと言われるのです。

物語って、壮大な冒険活劇モノもあれば、細やかで地味な作品も

ありますよね。華やかさだけで中身の無いモノもあるし、淡々とし

た日常を描く中に奥深さを感じる作品もあります。人生の物語も、



Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

同様ではないですか。何より現代社会に生きる私たちは、合理的にコストを減らし、最短距離で目標を達成することが良い人生だと思っ

ていませんか。まるで、高速道路を猛スピードで走る自動車のよ

うに。しかし、田んぼの畦道をのんびり歩くのも、また一つの人生

のはず。寄り道や躓きがあるからこそ、見える景色があるのです。「良

い体験も悪い体験も物語の一部。プロジェクトも、あくまで物語の

躍動感を高めるもの」だとマルテルアさんは語られます。確かに、思

っていた通りにならなくても、思っていたところとは違う場所に出

たとしても、人生を物語と考えれば「こんな展開になるのか」「面白

いなあ」と楽しめるのかもしれない。（幸福度世界一フィンランド 意

味ある人生送れますか」毎日新聞 2021年5月21日）

そして物語だからこそ、一つの気づきや出会いで、人生は大きく

変わります。それは、これからだけではありません。過去を含めた

人生が変わるのです。

お笑い芸人の千原ジュニアさんは、若い時から才能を高く評価さ

れ、数多くの番組で活躍されている方です。一見すると順風満帆の

ようですが、中学時代は引きこもり、26歳のバイク事故で生死をさ

まよい、最近では股関節の難病にかかるなど、ハードな人生を歩ま

れています。中でも、引きこもっていた時期は、一番戻りたくな



いと思うほどツライ時代だったそうです。

小さい頃から「どうしてみんなと同じ道を歩けないんだろう」と思っていた。絵を描いて、太陽を紫色に塗ると先生から怒られた。独自の感性が、周りに分かってもらえない。学校も居心地が悪く、居場所もなく、違和感しかない。いつしか部屋に引きこもり、「この先どうしようか」といつも考えていた。インターネットもなく、「不登校」にも理解のない時代。でも学校に行つて勉強してという先に、自分の人生があるような気がしない。「じゃあ、どっちの方向やねん！」って言われてもわからない。でも、こつちの方向じゃないことだけはわかっていた…。

そんな中、兄のせいじさんに「漫才コンテストに出るぞ。相方になれ」と声をかけられ、お笑いの世界と出会います。とはいえ、今まで人を笑わせたこともないし、どうすれば笑ってもらえるかもわからない。仕方なく、居心地の悪かった中学時代の違和感をネタにすると、これがウケて。そこから、芸人としての新たな人生が始まりました。すると「引きこもっていた時のことを小説にしませんか」という話が持ち込まれ、それが『14歳』という本として出版され、ベストセラーになりテレビドラマ化もされる。地獄のようだったツライ過去が、「こんなふうになるのか。不思議なもんだなあ」と思えるようになったのです。↘

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

26歳で起したバイク事故では、ようやく出会えた居場所を失う絶望感を味わいました。ところがそこで、お見舞いに来てくれた先輩たちの励ましに、多くの人たちの優しさに包まれていたことに気づかされます。そこから復帰を決意し、芸風も変わり、人間的にも成長させてもらったと振り返っておられるのです。

ジュニアさんは、「人生をシーンで見るとは、ストーリーとして見て欲しい」と言われます。ワンシーンだけを見れば地獄のよな日々も、ストーリーとして見ると「あれもあつて良かったなあ」「あの時期があつたから、今がある」と振り返ることができるかもしれない。これから自分の知らない楽しいことや、素敵な人に出会えることもあるんじゃないか。だから、今はつらくても、人生を一つのシーンで決めつけなくて欲しい。もちろん、ストーリーは一つ一つのシーンの積み重ねだから、より良いストーリーにするために、一つのシーンに何を見出していくのか。何に気づけるかを大切にして欲しいと。『Speech. 卒業生・社会へ挑戦する人へ』

人生は、まさに物語なのです。もちろん過去は変えることはできません。しかし、気づきや出会いの中で自分が成長すれば、↗



見直すことができる。まさに、「これからが、これまでを決める」と言えるでしょう。ならば、「このシーンは、どんな物語へと繋がっていくのだろうか」というワクワク感さえ生まれそうです。

但し、ひとつ注意が必要です。「終わり良ければすべて良し」という言葉があるように、物語はその終わり方で決まると、私たちは思いがちだから。死に際に「良い人生だった」と振り返ることができれば成功。そうでなければ失敗ということになるのなら、結局人生をプロジェクトとして見ることや、死に際というワンシーンで決めることと、同じになるのではないですか。

阿弥陀様のみ教えに生きる者にとって、死に際は関係ありません。なぜなら、人生は死で終わるものではないからです。この世のいのちが尽きた時、阿弥陀様のはたらきによってお浄土に生まれ、仏様と成らせていただく。先に往かれた方と、また会える世界が用意されている。そして、今度は仏様として、後の人々を導くはたらきをする者となる。人生は、死を超えて続いていくのです。

人生が「死で終わる物語」ならば、その視野は「自分が生きている間に固定化され、狭まることにもなりかねません。「死では終わらない物語」に生きる時、この私の人生に先立ち歩まれた方々の物語があり、その導きと恵みによって今の私があるという気づきが生まれてく、

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

る。そして、次の世代に何を遺すべきか、どう共に生きるかが問われてくる。生と死を超えて出会いが広がり、連綿と続く物語に生きる人生が始まるのです。

新たな一年が始まります。この一年を豊かな物語として味わうためにも、様々な気づきや出遇いを見落とさないように心掛けたいと思います。視野を狭めてはいないか。心が開かれた状態になっているか。まずは、その点検から始める必要があります。



極楽寺  
ホームページ

極楽寺.comで検索を

又はQRコードから



# 二〇二三年 極楽寺のご法座

無事に、勤めることができれば、良いのですが…。  
コロナ禍の状況次第で、変更・中止となる可能性も  
あります。その際は、ご連絡いたします。

一月一日 元旦会

三月四日 春の彼岸会法要

講師 大阪如来寺住職 釈徹宗師

四月十三日～十四日 春の永代経法要

講師 福岡市西教寺住職 森哲人師

五月二十一日(毎年) 清光仏教婦人会 降誕会

六月二十七日～二十八日 夏法座

講師 山口市超照寺住職 大來尚順師

八月十四日～十五日(毎年) 盆法会

九月二十三日(毎年・秋分の日) 納骨堂追悼法要

十一月八～九日 秋の永代経法要

講師 美祢市明巖寺住職 中島昭念師

十二月十八日(毎年) 清光仏教婦人会 報恩講

十二月三十一日(毎年) 除夜の鐘つき 初礼拝

ご法座には、  
門徒式章をつけて  
お参りしましょう

門徒の正装は、門徒式章をつけた服装とされて  
います。喜びも、悲しみも、仏様と一緒に。  
お参りの際は、式章をおつけ下さい。



2023 (令和 5) 年

## 年回忌表

一周忌 2022(令和 4) 年往生  
三回忌 2021(令和 3) 年往生  
七回忌 2017(平成 29) 年往生  
十三回忌 2011(平成 23) 年往生

十七回忌 2007(平成 19) 年往生  
二十五回忌 1999(平成 11) 年往生  
三十三回忌 1991(平成 3) 年往生  
五十回忌 1974(昭和 49) 年往生  
百回忌 1924(大正 13) 年往生

※ お配りした、カレンダーの台紙にも、書いてあります。



## 第36回三隅親鸞聖人聖跡巡拝団

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要参拝と京都観光の旅

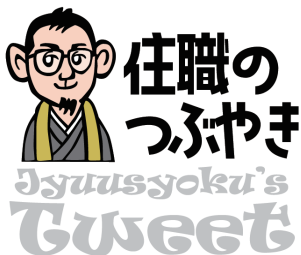


コロナ禍も3年目を迎えます。コロナと共に生きることを模索していかなくてはならない時期に来ているのかもしれませんが、そんな中ですが、4年ぶりの聖蹟巡拝団をご案内いたします。2023年は親鸞聖人がお生まれになられて850年目。また2024年は親鸞聖人が主著『教行信証』を著されてから800年目となります（この年が、浄土真宗が開かれた「立教開宗」の年とされています）。大きな節目をお祝いする法要です。そして、春の京都を満喫しましょう。お誘い合わせの上、ご参加ください。

**2023年4月10日(月)～11日(火)**  
**参加費 70,000円 募集人員 19名**

メ切3月12日(日)まで。定員になり次第メ切ります。申込みはお寺まで。

聖蹟巡拝団は「お互いさま」「ありがとう」の旅行です。迷惑をかけ合い、感謝し合う旅ですから、どなたでも遠慮なくご参加下さい。



□ お取越しのお参りで、大忙しの毎日です。疲れは溜まっていますが、皆さんとお会いできるのは、楽しい時間でもあります。□ 現在、納骨堂の補修工事を行っています。築55年の建物ですし、ひび割れも気になっていたのですが、今回の工事で驚きの事実が発覚しました。何と、いつ剥落してもおかしくない状態の箇所が、いくつも見つかったのです！これが、もし落ちていたらどうなっていたか…、誰かがケガをしていたら…、

いやケガだけならまだしも…、などと考えると冷や汗が出てきます。今回の件を教訓に、建物の安全管理は早めに行うようにいたします。□ 納骨堂は在築55年を経過しており、十年後に新築するプロジェクトをスタートします。新規加入者を募集しておりますので、お寺までお問い合わせください。お参りのし易さ、維持管理のことを考えると、やはり納骨堂のメリットは大きいと思います。■

# 極楽寺清光仏教婦人会の皆様へ 仏教婦人会報恩講を、 御正忌に合わせてお勤めします。



ごしょうき  
御正忌が年内に取り越されます。

コロナ禍の中、短期間に何度も法座を勤めるのは無理だと判断しました。  
ご理解ください。

仏婦よりお供えしたお供物を、参拝者全員にお配りします。  
なお、今回は会費を集めません。

## 除夜の鐘つきのご案内

つきはじめ  
11時50分  
大晦日

コロナ禍ではありますが、除夜の鐘つきはおこなうことにしました。屋外ではありますが、必ずマスク着用でお越しください。

今年は、おでんはありません。



がんたんえ  
元旦会は、お寺の者だけでお勤めします。

各家のお仏壇にお参りください。

新年も、阿弥陀さまに手を合わせることから始めましょう。

## 元旦会は お寺の者だけでお勤めします

### 次回法座の予定

久しぶりに、釈先生に来ていただきます！

春の彼岸会法要 3月4日(土) 昼席のみ

講師 釈 徹宗 師 大阪 如来寺住職 相愛大学学長

